

令和 7 度 入試過去問題

彫刻専攻

総合型選抜

第 1 次選考：書類審査

出願時に提出された自己アピール資料による能力判定及び書類審査により選考。

試験科目 自己アピール資料

評価基準 想像力と造形力を総合的に判断する。

【自己アピール資料及び課題の内容】

A 自己アピール資料

これまでの自主的な活動や作品を自由にまとめてください。

B 課題（表現又は提案）

「流」をテーマに自由に発想し表現してください。

- ・立体作品として制作してください。
- ・提出は、3 方向から写した写真によることとします。
- ・作品に関するコメントを 400 字以内で記し、添付してください。

提出資料(A,B)は、A3 サイズのファイル 1 冊にまとめてください。提出枚数は自由。

第2次選考

試験科目 小論文

試験時間 1 時間 30 分

評価基準 論理的な思考力と文章表現力をみる。

試験問題：配布した資料は、彫刻家 戸谷成雄（1947 年～）の彫刻作品の写真です。これらの資料から作者が表現したかったことは何かについて考え、あなたの考えたことを解答用紙に 1200 字以内で記しなさい。

(図 1) 戸谷成雄 《 POMPEII・・・79 〈Part 1〉 》 1974 年

図版：『戸谷成雄一現れる彫刻』

発行 | 2017 年 武蔵野美術大学 美術館・図書館

(図 2) 戸谷成雄 《 POMPEII・・・79 〈Part 1〉 》 1974 年

図版：『戸谷成雄一現れる彫刻』

発行 | 2017 年 武蔵野美術大学 美術館・図書館

(図 3) 戸谷成雄 《 森の象の窯の死 》 1989 年

図版：『戸谷成雄 彫刻』

発行 | 2022 年 T&M Projects

出題の意図：対象を見て感じたことや考えたことを論理的にまとめ、文章で表現できるかを問う。

注意事項：辞書類の使用は不可。鉛筆（シャープペンシル）を使用。

試験科目 面接

試験時間 1 人 15 分程度

評価基準 立体造形表現への意欲・資質をみる。

内 容：第1次選考試験、自己アピール資料を参考に試問

令和7年度 合格者（入学者）作品

彫刻専攻

一般選抜

試験科目 素描

- ・ 木炭又は鉛筆、併用も可
- ・ 試験用紙(木炭紙、画用紙)を配付時に選択

試験時間 6 時間

評価基準 基礎的な描写力と表現力をみる。

問題文：台の上の石膏像を素描しなさい。

モチーフ：ラボルト

配付物：木炭紙又は画用紙





試験科目 塑造

試験時間 7 時間

評価基準 立体造形力と感性をみる。

問題文：「笑い」をテーマに、自身の身体の一部と紙とテープをモチーフとし、自由に塑造しなさい。

※配布された紙とテープは加工しても構いません。

モチーフ：・紙
・テープ

配付物：粘土(15 kg)、塑造板、心棒(金属)、心棒用木材、ベニヤ板(粘土硬さ調整用)、
針金(8 番,10 番)、しゅろ縄(太,細)、塑造道具等







